



松山市議会議員 吉富健一の政務活動報告 よしとみマン通信

第16号
2017年8月号
発行) 松山市議
吉富健一

表面	まつやま内水ハザードマップを全戸配布!!
中面	身近なことからコツコツと…2017夏(地域実績特集)
裏面	松山市役所浮穴支所跡地の有効活用を推進! 浮穴分団 森松消防ポンプ蔵置所に生まれ変わりました!

まつやま内水ハザードマップを全戸配布!!



豪雨による浸水被害には川の水が堤防を越える「洪水」と下水道や側溝が雨水を排水しきれずにあふれる「内水氾濫」があります。これまでの水防法には内水氾濫に関して定めがありませんでしたが、改正法では内水被害の恐れがある「浸水想定区域」の指定を県や市に義務付け、河川氾濫などと同様の浸水対策を促しています。

こうした状況を受けて、よしとみは平成27年6月定例会で水防法改正に伴う浸水被害対策の強化について一般質問していました。

松山市では大雨による被害の軽減を目的に、平成22年度から27年度にかけて内水ハザードマップを作成・公表してきましたが、このたび、冊子「まつやま内水ハザードマップ」を作成し、平成29年2月から3月にかけて市内全戸に配布をしました。

毎年、梅雨の時期は浸水被害が心配になります。松山市でも近年は集中豪雨による浸水被害が発生し、よしとみも連絡を受けてしばしば現場に向かいました。このように全国各地で豪雨が多発していることに伴い、平成27年5月には浸水被害対策をハード、ソフトの両面から推進する「改正水防法」などの関連法が成立しました。

1. 本市の治水について

(1) 浸水被害対策について

① 河川・水路など、本市の水の流れの全体像はどのようなものか。

また、浸水被害の発生状況や地域はどうなっているのか。

そして、本市の浸水被害対策のポイントは何か。

② 今補正予算案に計上している傍示川護岸工事の完了により、周辺地域の浸水被害はどの程度軽減されるのか。

また、平成22年の集中豪雨以来、本市の浸水被害対策はどこまで進展したのか。残る課題は何か。

(2) 水防法改正に伴う浸水被害対策の強化について

① 水防法の改正に伴い、内水氾濫も含めた浸水想定区域はどのように拡大するのか。

② 水防法の改正を受け、浸水被害対策の強化に本市はどのように取り組むのか。 など

(平成27年6月定例会 一般質問)

松山市役所浮穴支所跡地の有効活用を推進! 浮穴分団 森松消防ポンプ蔵置所に生まれ変わりました!

このほど、松山市役所浮穴支所跡地に森松消防ポンプ蔵置所が整備されました。



(before)

【県道 194 号 久谷森松停車場線】に面する浮穴支所跡地は耐震性がなく、長い期間、老朽化して活用されないままでした。

そうした中、地元住民の方からは、「あの跡地の活用はどのようになっているのか。治安の面からも心配であるし、介護の拠点にするなど、有効な活用はできないものか」とのご指摘があり、よしとみは市の担当部局に問い合わせをしました。

そうしたところ担当部局からは、「タウンミーティングなどでもご意見をいただいております。有効な活用策があれば地元からご提案をいただきたいところだが、ゆくゆくは売却か、場合によっては転用も考えている」との回答でした。

そこでよしとみは、平成 27 年 6 月定例会で「財政の見える化」について一般質問。松山市役所浮穴支所跡地を例示して、未活用の市有資産の管理・活用について質疑をしていました。



(after)



吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

検索

<http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>

ひとことメッセージ 

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

吉富健一(本人) 協力者 ()

日ごろからのご指導とご支援に心より感謝御礼申し上げます。